

大館市教育委員会会議録

日 時 平成29年12月26日（火）
午後1時30分
場 所 大館市立中央公民館 第1研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成29年12月26日(火) 午後1時30分		
	場 所	大館市立中央公民館 第1研修室		
2 出席委員の氏名(4名)				
教育長職務代理者	山田和人	委員	根田穂美子	
委員	清野克子	委員	小笠原正卓	
3 欠席委員の氏名(なし)				
委員				
4 委員以外の出席者職氏名				
	なし			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高橋善之	教育総務課長補佐	成田浩司	
教 育 次 長	佐々木修	学校教育課長補佐	小松原功秀	
教育総務課長	加賀安長	学校教育課長補佐	伊多波卓美	
学校教育課長	山本多鶴子	生涯学習課長補佐	小玉均	
教育研究所長	貝森逸子	中央公民館長	松田新一	
生涯学習課長	一関留美子	歴史文化課長補佐	大井和博	
歴史文化課長	若宮司	スポーツ振興課長補佐	佐藤税	
スポーツ振興課長	菅原悟	生涯学習課生涯学習係長	佐藤正平	
		教育総務課総務係長	関智仁	
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 関智仁				
8 教育長報告				
(1)	大館市学校教育環境適正化検討委員会の発足について			
(2)	ベースボールクリスマス2017 in秋田の開催について			
(3)	東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向けたイベントの実施について			
(4)	平成29年の10大ニュース			
(5)				
(6)				
9 議 事				
協議第23号	平成30年度 当初歳出予算要求の主な概要について			
10 その他				
(1)	ニプロハチ公ドームコンサートの出演アーティスト決定について			
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

議 事 の 経 過	
	開会 午後 1 時 3 0 分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 本日の会議録署名委員は、小笠原委員にお願いします。
教育長	会議録の承認についてです。 10月30日分と11月24日分について、何かお気づきの点がありましたでしょうか。
全委員	無し。
教育長	「無し」とのことですので、承認とさせていただきます。
教育長	それでは、次に報告事項をお願いします。報告の(1)から(4)について事務局より説明をお願いします。
学校教育課長	(「大館市学校教育環境適正化検討委員会の発足について」を、資料により報告)
スポーツ振興課長	(「ベースボールクリスマス2017 in 秋田の開催について」を、資料により報告) (「東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向けたイベントの実施について」を、資料により報告)
教育総務課長	(「平成29年の10大ニュース」を、資料により報告)
教育長	以上4件の報告について、質問やご意見等ありませんか。
委員	大館市学校教育環境適正化検討委員会についてです。次を見据えた委員会が発足したということで、今、大館の教育はとてもいい状態ですがいいからこそそれに遅れないようにというスタートだと思います。これからの時代の変化や情勢を多面的に読み取りながら検討、協議が重ねられていくものと思います。その中で今年を振り返ってみて、心に残る小学校と中学校について一つずつ述べさせていただきたいと思います。まず小学校ですが、花岡小学校についてです。今年、博報賞を受賞しましたが、これは小規模校でもできるではなく、地域の学校として小規模校だからこそその細やかな配慮が届く実践の積み重ねと手ごたえを感じながらの実践が評価されたということで大きな意味があると思います。次に中学校についてです。統合後3年目の北陽中学校についてです。今年度は、統合後に入学した生徒たちが卒業証書をいた

	<p>だく年になります。生徒たちは大きく成長して卒業を迎えます。地域のみなさんのご理解とご協力をたくさんいただきながら、2代の校長先生が先頭に立ち先生たちが一体となった実践力が、このような活力ある姿に反映されていると実感する場面がたくさんありました。学校祭、記念事業、授業などどの場面でもそうでした。このように見てきますと本当にいい形なのだとことを改めて思い返します。ところで、この委員会のことが地元紙に紹介されました。その中で、小学校17校の内の4校、中学校は8校の内の3校が100人を切る見込みであると紹介されました。教育長さんは、少なくなるから統合ではないとおっしゃっています。市民の皆さんへの大事な情報だと思います。ちなみに小学校の場合、今後どれぐらいの時間に何校で複式学級が生じていくと見込まれているのか教えてください。</p>
学校教育課長	<p>小学校の複式学級は現在、矢立小学校の1校です。1年と6年が単級で2、3年を1クラス、4、5年を1クラスの複式としておりますが、他の学校でここ1、2年のうちに複式になる予定はありません。</p>
委員	<p>保育園児や幼稚園児の状況からある程度予測できると思います。10年のスパンで検討委員会から実施に向けたいのことでしたが、その辺りを見たときにどのようになりそうなのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>5年後位まで小・中学校の統計結果は出ています。それによると、今より急激に少なくなることはありません。10年前には予想していませんでしたが、有浦小学校や長木小学校のように増えている学校もあります。減り続けると思われていた花岡小学校や矢立小学校も1、2名ではありますが増えていますので、5年先のところで急に複式になるということは無いと見ています。</p>
委員	<p>分かりました。その辺のことを見ながら進められていくのですね。先ほどの小学校や中学校は具体的なモデルになるのではないかと思います。いい形で検討が進められることを期待しています。</p>
教育長	<p>問題は中学校です。9教科の免許をもった先生をそろえられなくなることが始まります。それから部活動の問題もあります。ふるさとキャリア教育の未来大館市民育成という観点から、切磋琢磨の中で力や気概、志などが生まれてくると考えた場合、中学校を早め早めに考えていかなければならないと思っています。</p>
委員	<p>そのような意味で、北陽中学校はいいモデルだと思います。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>

委員	<p>大葛小学校と雪沢小学校が閉校したとき、とても寂しく感じました。地域の中心となっている学校が消えていくということは、その地域の方にとってとても残念なことですが、子どもたちが減っていくことは目に見えています。地域の理解を得ながらスムーズに進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>自由選択学区、小中一貫校、特認校制度について教育長のお考えをお聞かせ下さい。</p>
教育長	<p>これまではAという学校がBという学校に吸収されるという形がほとんどでした。また、小学校から中学校へ行く時にこの地区はこの中学校へという形でした。自由選択学区というのは、中学校が無くなる学区について通学の便などを考え、A中学校、B中学校、C中学校を選択できるという制度です。小中一貫に関しましては、小坂や上小阿仁に小中一貫があります。一貫校にすると小学校の先生、中学校の先生が双方に乗り入れて授業を行うことができるというメリットがあります。地区によってはそれがふさわしい学校もあると思いますので検討する必要があると思います。特認校に関しては、大館市内の希望する児童が誰でもその小学校に通えるという制度です。昔、雪沢小学校が特認校でした。いずれにしても従来のような統廃合という形がなかなか出来ない状況もありますので、多彩な発想で子どもたちやその地域にプラスになるような環境を整えていきたいと考えています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。とても勉強になりました。適正化検討委員会の委員の方たちにもそのような有益な情報をどんどん提供していただきながら、よりよい方向に向かっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>市民公募された事は大変良かったと思います。関心のある方たちが応募されたと思います。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>学校訪問をした上での雑感を含めながら、適正化検討委員会について若干のお願いがあります。今回、カトリック幼稚園を拝見し、有浦小学校は学校訪問できませんでしたが、バザーを拝見し東中学校も拝見しました。そこで有浦学区でどのようなことが起きているのかということを見させていただきました。東中学校に行ったときの感想の中で、誤解される表現をしてしまったかもしれませんが、コミュニティが崩壊しているというようなことを言いました。実はこれは「新しいコミュニティができるための旧来のコミュニティが崩壊している」という捉え方をしていただきたかったものです。なぜかということ、カトリック幼稚園から綿々と親御さんのネットワークが出来上がってきています。それが新しいネットワークになりながら、小学校ではバザーという大きな力になり、そして中学校へと紡がれていくということを見させていただきました。有浦地区を拝見し学校が文化の中心になっている、コ</p>

教育長	<p>コミュニティの中心になっているということがよく分かりました。コミュニティの核となるものは学校、教育機関ではないかと感じています。適正化検討委員会ではそのような観点から適正化を検討していただきたいと思います。それからもう一つは、旧雪沢小学校を見させていただきました。ドローンをうまく取り入れた利活用ということで、とても希望が持てました。是非、適正化検討委員会の中でその後何ができるかということを含め、希望の持てる計画を想定し、コミュニティの継続と次に対する未来の希望という意味でのプランを練っていただきたいと思います。その案が大館市のためになると思います。</p> <p>おっしゃる通りです。以前は子どもが少なくなり小規模になると学力が下がるということが統廃合の論理でした。複式も学力が下がるからダメという論理でした。最近では学力が上がります。小学校でも3複式は厳しいですが2複式は耐えることができると思います。一番大きいのが委員がおっしゃった地域への影響です。そういう意味で小学校に関しては出来る限りギリギリの段階まで頑張れるのではないかと私も思っています。委員長もそのような観点からみんなで知恵を出し合いましょうという姿勢でしたので、希望を語る教育環境の適正化を目指していきたいと思います。</p>
教育長	他に何かありますか。
委員	ベースボールクリスマスについてです。秋田県で初開催とのことですが、大館に決まった経緯を教えてください。
スポーツ振興課長	全国各地で開催しますが、一年に一回ですので全国を回ると秋田県には47年に一回来ます。開催期日がプロ野球のシーズンが終わった後の12月です。ドームがあることで大館が選ばれました。
根田委員	分かりました。子ども達に夢を与え大人も楽しめました。10,000人の来場は驚きました。
教育長	青森県や岩手県からもたくさん来ていただきました。ドームがあるということは強みです。ドームをいかに活用するかが課題です。
教育長	他に何かありますか。
教育長	無いようですので、議事に入ります。協議第23号について事務局より説明をお願いします。

各課・館長 ほか	(協議第23号「平成30年度 当初歳出予算要求の主な概要について」を、資料により説明)
教育長	協議第23号について、質問やご意見等ありませんか。
委員	3ページの備品購入事業に楽器とありますが、小学校、中学校にスクールバンドはどれぐらいあるのでしょうか。
学校教育課長	すべての中学校にブラスバンドがあります。小学校については楽器を持っていない学校はありません。東館小学校のように部員がいなく休部している学校もありますが、すべての小学校に楽器があります。
委員	分かりました。最近、コンピュータなどにとっても物入りだということは重々承知していますが、楽器はその善し悪しにより音が違うということを聞いたことがあります。その辺も含めてご検討いただければと思います。
学校教育課長 補佐	今回予算要求した楽器は、北陽中学校、下川沿中学校、田代中学校から要望のあったクラリネット、チューバ、トランペットです。
委員	分かりました。
委員	委員から新しいものへの対応も必要だが、従来のものでも大事なものがあるとのお話がありましたが、それに関連してお伺いします。学校図書館の図書購入費はどのくらい予算措置されているのでしょうか。
学校教育課長	以前は各校に何万円と予算措置していましたが、平成27年度から図書費としての予算は持っていません。学校によっては保護者に図書館運営費を負担していただき、その中から図書を購入しています。
委員	そうしますと学校の都合で図書の購入がゼロになることがあるのでしょうか。
学校教育課長	各学校には、何に使うかを学校の裁量にまかせる予算を配当していますので、その中から図書を購入している学校もあると思いますが、市からこれが図書の購入分だと使い道を限定しての予算の配当はしていません。
教育次長	学校の配当予算に関しましては、各学校からの要望を加味しながら配当しています。図書購入費につきましては消耗品費の中に含まれています。
委員	何十年も図書購入費が細くなってきているという状況にあります。運動する子どもたちへの支援も必要ですが、すべての子どもが運動ばかりではなく、図書館などに関わることに向いていて、そちらの方を頑張っている子どもも

<p>教育長</p>	<p>います。高校では図書委員会が外へ向けて活動しています。そのような子どもたちも確実にいます。高校の図書館司書の方も予算が少なく困っているとのことでした。いろいろなものにお金を使わなければならない大変だとは思いますが、各校にその辺の配慮をお願いいたします。併せて、前に雇用対策で何校かの学校へ図書館の司書にまわっていただいていた時期がありました。そのときその学校の校長先生からは子どもたちの足が図書館に向き、とても良いという声が聞こえてきておりました。今、子どもたちはいろいろな活動をしなければならない大変だと思いますが、そういう中でも図書館に行く子どもはいると思います。そのような意味でご配慮をよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>他に何かありませんか</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育総務課にお伺ひします。小学校、中学校の施設維持補修工事費を要求されていますが、先日、PTAの市長と語る会で各校から要望があったと思います。この要求が通ったと仮定して、どれぐらい要望がかなえられるのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>比較しますと、29年度は学校にエアコンを設置したので工事費が多くなっていますが、エアコン分を除くと7千万円程です。来年度は今年度から見て20～30パーセントアップを目指しています。PTAからの要望額はすべて合わせると3億円に近い額となります。全体の要望の30～40パーセントの達成率になるのではないかと見込んでいます。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>教育長</p>	<p>他にありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページに新規事業でふるさとキャリア教育等へのバス運行委託とありますが、これはどの辺まで行くのでしょうか。何か制約などあるのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長 補佐</p>	<p>まだ計画段階ですが、大館から一番遠い所で八峰町のあきた白神体験センターを想定しています。近い所では学校から文化会館などです。市内の何か所かを一日かけてまわることをベースに考えています。また、泊りは無しで考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。例えば子ども達に文化会館やドームで何かを体験させたいとき、近い学校では徒歩や自転車での移動が可能ですが、足が無いために子どもたちの体験を広めてあげることが出来ずにいた学校が今まであったと思います。これを拝見し、そのようなことをクリアできるのではないかと思います。出来るだけ子ども達に公平感をあげられればと思います。期待しています。</p>

教育長	他に何かありますか。 （「無し」の声あり。）
教育長	質疑等無いようですので、協議第23号を承認してよろしいですか。
全委員	異議なし。
教育長	協議第23号を承認します。
教育長	その他に入ります。何かありましたら発言願います。
教育総務課長	（「ニプロハチ公ドームコンサートの出演アーティスト決定について」を、資料により説明）
教育長	他に何かありますか。
教育総務課長	（次回の開催日程について）
教育長	他に何かありませんか。 （「無し」の声あり。）
教育長	これをもちまして教育委員会会議を終了いたします。
会議終了時刻 午後3時00分	